

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬第二中学校

校長名 牧口 弘一

令和7年度教育課程について（届）

このことについて、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（知的障害）の教育課程を下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

（1）学校の教育目標及び育成を図る資質・能力

【教育目標】愛情【より豊かな心を培う】 学力【より深く自ら学ぶ】
勤労【よりよく働き責任を果たす】 健康【よりたくましく、心身を鍛える】
【育成を図る資質・能力】

自分の人生を豊かににするための学びに向かう力と人間性、課題を解決するための駆動する知識・技能、将来に出会うであろう未知の状況に対応する思考力、判断力、表現力、自分の命も他人の命も大切に思う力、清瀬を誇りとして、社会の中の一員として主体者となる力

（2）特別支援学級の教育目標

個々の教育活動のねらいに即して体験的な学習活動の充実を図り、自己理解を深め、望ましい勤労観、職業観を育て、主体的に進路を選択することのできる生徒を育てる。

ア 教育活動全般において、健康な心身と、課題に向かう思考力、判断力、そして相手に伝える表現力、そして他の人と協働できる社会性を伸ばす。

イ 障害の状態を考慮し、課題に対して適切な自身の行動を考える判断力を育てる。将来、社会の一員となって生活することができる自立する力を育てる。

ウ 通常の学級や連携する小中学校、地域との段階的な交流活動を通して、学びに向かう力や意欲を向上させ、協力し助け合い、自分も他人も大切に思う力を育てる。

（3）学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

ア 道徳科を要として、すべての教育活動を通して自己肯定感の向上、自他の生命を尊重する態度や人間関係を築く力の育成を図る。（命の教育）

イ 各教科の指導における言語活動の充実を図り、駆動する知識や技能、読解力、未知の状況に対応する思考力・判断力・表現力の育成を図る。（学力向上）

ウ 保健体育で新たな取組みを試行し、運動を楽しむ心を育み、体力向上、運動習慣と生活習慣の定着を図り、生涯にわたって、心身の健康保持増進の意識を育てる。（体力向上）

エ 連携する小学校と協力して教育活動の連携を深め、さらにコミュニティスクールとして地域の教育力を活用した教育活動を推進する。（地域とともにある学校づくり）

オ 校内支援員会を中心として、障害のある生徒や不登校生徒など支援を必要としている生徒へ、組織的な支援を図る。